

平成 31 年第 1 回 安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	平成 31 年 1 月 22 日 (火)		
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター 3 階 大会議室		
開 閉 会 日 時	開 会	平成 31 年 1 月 22 日 (火) 午前 9 時 32 分	
	閉 会	平成 31 年 1 月 22 日 (火) 午前 11 時 15 分	
出 席 ・ 欠 席 委 員	出席委員	二見吉康・清胤祐子・河野義文・池野博文・河本千絵	
	欠席委員		
職務により会議に出席した者	生涯学習課長	上田 隆	
	学校教育課長	長尾航治	
	主幹	萩原英子	
	主幹	林健太郎	
	課長補佐	児玉裕子	
会議に付した事件及び採決結果	議案第 1 号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価報告書	原案可決
	議案第 2 号	学校における働き方改革取組方針(平成 30 年度～平成 32 年度)	原案可決
	議案第 3 号	運動部活動の方針	原案可決
報告協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 2 月の行事予定等について 2 平成 30 年度卒業式、平成 31 年度入学式の分担について 3 プログラミング教育について 4 平成 31 年度主要事業について 5 本町における「就学前教育のあり方」の方向性について 6 その他 		

【 議 事 録 】

日程第 1、開会

(午前 9 時 32 分開会)

教育長)

皆さん、おはようございます。

平成 31 年の第 1 回教育委員会会議を開催いたします。

これから、平成という名を使うのは 4 月まででございますので、大変数が少なくなりました。新しい年の第 1 回ということで、よろしく申し上げます。

先ほども事前の会でありましたけれども、雪が降らなくてですね、困っておられる業種の方もおられますけれども、交通・生活の面では助かるという点もあり、非常に難しい問題だと思います。

それでは、今日の資料をお根元に配布しておりますが、本日の議題等で公開になじまないものがあれば後回しにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(な し)

それでは、日程のとおり進行してまいります。

日程第 2、教育長報告

教育長)

(以下の項目について報告。)

1 12 月～ 1 月の学校等の状況

教員対象プログラミング教育研修(12 月 26 日)加計中

町消防団年末特別警戒(12 月 28 日～ 30 日)町内全域

町消防団出初式(1 月 6 日) 戸河内ふれあいセンター

広島県学力向上交流会(1 月 12 日) 国際会議場

平成 31 年町成人式(1 月 13 日) 温井スプリングス H

島根県浜田市教育委員視察(1 月 17 日) 加計中

町議会・総務常任委員会による学校視察(1 月 17 日) 安芸太田中・戸河内小

【予定】 県市町教育長会議(1 月 23 日) YMCA & 国際ホテル

【予定】 町人権教育公開研究会(1 月 24 日) 安芸太田中・上殿小、役場

【予定】 立志式(1 月 26 日) 川森文化交流 C

【予定】 地域応援ウォーキング：町 P 連への寄付贈呈(1 月 28 日) 役場

【予定】 臨時町議会(1 月 31 日) 議会

【予定】 新しい学びプロジェクト研究報告会(2 月 2 日・ 3 日) 東京大学

2 教員対象プログラミング教育研修(12 月 26 日)加計中【再掲】

3 平成 31 年町成人式(1 月 13 日) 温井スプリングス H【再掲】

- 4 町議会・総務常任委員会による学校視察（1月17日）安芸太田中・戸河内小【再掲】
- 5 島根県浜田市教育委員視察（1月17日）加計中
- 6 平成31（2019）年度への対応
 - 町内小・中学校のICT教育の充実
 - ・ICT教育環境の整備と積極的な活用及び創意工夫により、学習意欲を高め学習内容の定着を図る。
 - 小学校英語活動・中学校英語教育の充実
 - ・幼稚園・小学校英語活動及び中学校英語授業におけるALT(英語指導助手)/コーディネーターの計画的・効果的な活用と能力の向上を図る。
 - ・中学校英語検定制度の完全活用
 - 協調学習を引き起こす授業の開発と実施授業の拡大を図る。
 - 遠隔授業の研究と開発
- 7 服務規律の徹底について
 - ・セクハラ・飲酒運転等の未然防止
 - ・交通違反や交通事故の未然防止

教育長)

私からの報告は以上でございます。何かございませんでしょうか。
よろしいでしょうか。

日程第3、議事

教育長)

議案第1号、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価報告書について議題とします。事務局より説明を求めます。生涯学習課長。

生涯学習課長)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価報告書について説明する。)

教育長)

今の報告について、質疑を行います。何かございませんでしょうか。

C評価があったのは、22ページの幼稚園教育に関してですね。これが唯一のC評価でございました。何かございますか。はい、池野委員。

池野委員)

英語教育に関する部分で、評価もAとなっているんですが、私個人の経験から申しまして、この安芸太田町は中山間地域にあって少子化等の様々な問題がありますけれども、私が高校に入学したときにカルチャーショックを受けたのが、「英語」と「数学」でした。特に英語に関しては、絶対的な時間量の不足を感じました。私の子どもを見ても、やはり英語については高校に入ってからかなり努力する必要があるように思うので、そのあたりの子どもの状況ですね。現在の状況はいかがでしょうか。

教育長)

事務局から答えられるところで。

萩原主幹)

わかる範囲でお答えします。高校に入るときに、どのような感想を持たれているかということは、ちょっと把握できてないんですけども、英語の学力については近年高いところで維持しているということがあります。ただし、町内的には不得意な子ども等もいますので、全体的に飛びぬけているということではないんですが、そういう状況です。

現在、中学校では毎週3時間ある英語の授業の中の2時間は必ずALTがいて、その日は1日学校にいるというようにしています。子どもたちが潤沢に英語を使うという環境は整えてありますし、個別の面接等指導、英検に向けたレッスン、やり取りをするという場も、他の自治体、広島市等の中学校ではないような場もできているということで、経験的には随分豊かではないかなと思っています。

ただし、単語力や英語の表現力というのが均一して高いレベルにあるのかといわれますと申し上げられないところもありますが、環境としては整ってきているのではないかと感じております。

教育長)

林主幹からは何かありませんか。

林主幹)

昨年まで中学校の3年生を担当させていただいておりましたので、特に英語力については2極化していると感じました。(英語が)好きな子はALTに自ら近づいて、自らコミュニケーションを図るんですが、嫌いな子はずっと嫌いでした。(英語が)嫌いな子どもたちも何とか興味を持ってということでは、授業者(教員)がポイントとなってくると思うんですけども、例えば興味付けのため、YouTubeとか生徒が最近で食いつきやすいものの導入ですとか、何とか興味を持たせるというようなことはよくやっているのを見ました。

二極化している部分をどう縮めていくのかということがポイントになっていると思います。

教育長)

広島市のような大規模な中学校になってくれば、ALTと学ぶ授業は月に2回ぐらいだと聞いています。何十人というALTを抱えていまして1学年が10クラスあるような学校規模になると月に2回程度しか順番が回ってこないんですね。それが(本町では)週2回も受けられるというのは恵まれた環境だと思うんですね。ただ、それをどれだけ使いこなすのか、それをきっかけにどれだけ意欲的に学ぶかというのが本町の課題とも思います。

はい、ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

それでは、議案第1号の報告についてお諮りします。異議ございませんか。

(なし)

全員異議なしと認めます。以上で議案第1号は終了します。

教育長)

議案第2号、学校における働き方改革取組方針についての説明をお願いします。

林主幹)

(県方針に準ずる本町版、学校における働き方改革取組方針案について説明する。)

教育長)

質疑を行いたいと思いますが、何かありますか。はい、清胤委員。

清胤委員)

概略版のところで、成果指標を示してくださったんですが、現在のパーセンテージとかはわかりますか。

林主幹)

現在のパーセンテージですが、県の行っている業務改善プロジェクトというのがありまして、その指定を受けておりました加計小学校、安芸太田中(当時は戸河内中)それと加計中ですね。昨年度の数字で言うと小学校と中学校で種別が違うんですけども、(子どもと向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合)については、3校で70%くらいでした。1校ごとのデータは手元にはないのですみません。(時間外勤務が月80時間を超える教員の数)については、昨年度、まあ私も含まれるんですが数人おりました。(日々の業務の中で充実感を得られている割合)ですけども、学校によって幅があるんですけども50~85%で、3校平均しますと65%くらいです。

教育長)

よろしいですか。他に、河本委員。

河本委員)

今の説明の、幅がある理由は充実感の幅だと思うんですけど、個々のとらえの差というか、こういうのは何を持って充実なのか、何か(示されるもの)あるんですか。アンケートの記入の具体例とか。

林主幹)

業務全体を通して判断してもらおうというのが設問となっていますので、特にこのことの関係とか、例えば授業の手ごたえとか、個々に分けての回答にはなっていないので、業務全体のというところで自分がトータルで充実しているかどうかというところでのアンケートになっています。

教育長)

授業とか部活とか、分けていないということですか。

林主幹)

はい。

教育長)

わかりました。他にはありませんか。はい、池野委員。

池野委員)

聞きにくいことを聞くんですが、時間外勤務のことについて伺います。一番多い時間外勤

務の時間の層はどのくらいですか。

学校教育課長)

小中学校で若干の差がありますが、月 50 時間強が平均です。

池野委員)

まあ、はっきり言えば、毎日夜 9 時くらいまでは帰りにくい状況ということですね。

林主幹)

私も昨年度は学校勤務でしたから、19 時半くらいに帰ってもトータルでいけば 80 時間くらいに近づく感じです。

池野委員)

そうでなくても、最近は遠距離通勤の方も増えてきて 1 時間くらい通勤にかかるでしょうし、そうすると(家に帰れるのは) 9 時を過ぎるんでしょうね。

教育長)

他に、はい。学校教育課長。

学校教育課長)

成果指標について、概略版で 3 つの項目を掲げているんですけれども、アンケートによる設問型の指標と客観的数値による指標とを設定するという考え方は、成果指標としては両面から見るということで、(方針や計画では)よく使う手法となっております。

と に関しては、確かに教員への質問紙で返ってくるものですから、ここの達成というのは感覚的なものでかなりハードルの高い指標となると思いますが、池野委員が言われたの時間数の部分というのは、今後はタイムカードでしっかりと管理をすることとしていますから、正確な「実数」が出てくるものです。

先ほどもありましたが、時間外勤務は 50 時間を超えるところあたりが平均となっておりますが、これはおそらく、朝 1 時間、夕方 2 時間、1 日 3 時間勤務時間を越えて学校にいたと考えれば、それだけで月に 60 時間を超えることになります。これ、事務職も気をつけておかないと、よくあることなんですけれどもすぐに超えてしまうところなんです。これについては、やはり教員は努めていただく以上、教材作りですとか、子どもへの対応ですとか、いろんな対応等ありますので、こう言うてはいけないんですが、致し方なくやっていたいる部分があるのが実情です。ただ、月 80 時間、多い人は 100 時間を超えるということもあるんですけれども、こういう方を減らしていくということを学校全体、組織全体で教育委員会も含めて取組みを進めていかないといけないと考えております。

教育長)

これは、月曜日から金曜日までの 5 日間の勤務での時間ですよ。今、国レベルで議論されているのは、土曜日、日曜日の部活の時間も参入すべきではないかといった意見も出てきているところです。したがって、トータルで 80 時間以下に抑えようとするより厳しくなる、大変ハードルが高い指標となるものです。

予算もそうですが、スクラップ&ビルドでスクラップをしていくことが非常に重要ですが、学校でも、今度の校長会でも言おうと思うんですけれども、来年度の学校経営の中で、何をやるかの前に何をやめるかということを考えていかないと、お金も時間も足りなくなるよということです。いろんな会社経営者もそうですが、まず何をやめるか、何をやら

ないようにするかということを考えてから、その上で何をやるのかという発想でいかなければ、この数十年間、家庭教育も社会教育も含めて学校で抱えてきて、学校で何もかも担うという状況になってきていますので、やはり切らざるを得ないというものが出てくると思います。それがまた地域社会に理解されるかということもあると思います。

はい、他にはございませんでしょうか。はい、清胤委員。

清胤委員)

今教育長が言われたこと、常々私もずっと思っておりまして、ちょっと行事が多すぎるんじゃないかと思ひまして。本当にやらなくてもいいところを精査していただいて、やることに関しては充実感を持っていただけるくらいに、しっかり取組んでいただいて。どちらにしても日々業務の中で成功体験ばかりを与えられることはないから、児童生徒が失敗したときに教師もグッとってしまうわけですけども、そういうことも職員室の中とか、あるいは業務が終わってから同僚で話し合えとかそういった人間関係というんですかね、先生同士が仲良くなれるような環境を整えていただければありがたいです。

教育長)

はい。ありがとうございます。それでは、質疑を終わらせていただきます。お諮りします。議案第2号についてご異議ございませんか。

(なし)

異議なしと認めます。方針については案のとおりとさせていただきます。

教育長)

議案第3号、運動部活動の方針について、説明をお願いします。

林主幹)

(運動部活動の方針案について説明する。)

教育長)

部活動について、何か質問ございませんか。清胤委員。

清胤委員)

自分の子どもたちが中学校に上がった時びっくりしたのが、部活動に全員参加というのがまずはびっくりして、部活動というのは自由に選択するものだと思っていたので。「えっ」とは思ったんですが、入った部活でいろんな制約があっても一生懸命取り組んだことは彼らの財産になっていると母親としても思っています。

それを安芸太田町の教育のひとつの特色にされたらどうかなと思って。最初は嫌でも入ってみたらそこで一生懸命やることによって何か得られるというのは、丁度この時期には必要なんじゃないかなと思います。

今あったように、やはり人数が非常に少ないので、各部活で部長とかに任せてるとありきたりになってしまいがちだから、やっぱり学校がきちんと全体に見回して方針をつくられて、週一回ぐらいは全員でトレーニング大会とか、競うことが人数が少ないとできないので、走ったら誰が1番になったとかそういう競争原理をトレーニングの中に活かして、活発な活動のできる部活動であったらありがたいなと思います。

教育長)

はい、他に何かお気づきとかご質問ございませんか。はい、河本委員。

河本委員)

部活動を通じて、子どもたちも少人数の中なので人間関係であるとか、少人数でお互いを思うばかりに言いたいことが言えない、練習もそこそこだけどそれも「まあ」という感じで流れていって最終的には爆発したり、いろいろなやり取りをしながら成長するところとかも見てきたので、ある程度生徒も(人数が)欲しいし、そういう揉めたりとかする時間もたっぷりやる以上は欲しいなと思います。さっきの働き方改革との兼ね合いがあって難しいかなとは思いますが、少人数だけどしどし揉み合うというところができるようなところでやってほしいなと思います。

教育長)

他に何かありませんか。

今の部活のいわゆる休養とかですね、先生方を含めての健康、安全というのが主旨ですけども、本町の小規模な部活動のあり方について、メリットもあればデメリットもあるわけですけども、その中でせつかく3年間過ごす中で人生で大きくプラスになるものを得るようなそういう部活動であってほしいと思います。

質疑はよろしいでしょうか。それではお諮りします。議案第3号運動部活動の方針について、この方針を示すということでご異議ございませんか。

(なし)

全員異議なしと認めます。

日程第4、報告・協議

教育長)

1「2月の行事予定等について」説明をお願いします。

生涯学習課長)

(2月の行事予定について説明をする。)

教育長)

何かご質問ありませんか。よろしいですか。

続きまして、2「平成30年度卒業式、平成31年度入学式の分担について」をお願いします。

萩原主幹)

(平成30年度卒業式、平成31年度入学式の分担について、説明・調整する。)

教育長)

入学式の分担は時間がありますので次回調整させていただきます。

卒業式について確認させていただきます。加計中学校は清胤委員、安芸太田中は二見、筒賀小は池野委員、上殿小は二見、戸河内小は河本委員、加計小は河野委員、戸河内幼稚園は清胤委員ということをお願いします。なお、町長は中学校卒業式のみということにしており

ますので、加計中学校に町長、安芸太田中学校に副町長ということでお願いすることとします。

それでは次に参ります。3「プログラミング教育について」お願いします。

萩原主幹)

(プログラミング教育について説明する。)

教育長)

何かご質問等ございますか。はい、清胤委員。

清胤委員)

すごく面白いなって聞いてて思います。説明がすごく上手で。

プログラミング思考というのは、相手がパソコンとかロボットだとかに限らず、というよりは人間関係を確立していく上での思考力の柔軟さというか、そういうところをまず児童生徒に伝えていただいたら、パソコンや機械だけのことじゃないんだなって、そのところは気づきにくいと思うので。どうぞよろしくお願いします。

教育長)

はい、よろしいでしょうか。河本委員。

河本委員)

先生たちの(プログラミング教育研修の)アンケート結果を見たら、狙いどおりですね。

難しいと思われた方が全然なくて、楽しかったっていう意見が殆どだったんですが、何を研修されたのかなって、いい研修をされたんだらうなとは思いますが。先生が楽しかったらすぐに(授業に)還元したくなるだらうなって思っています。

(プログラミング教育必修化が)2020年度っていうことは、うちの子は残念ながら中学生になっているんですけど、これは小学校ですよ。せっかくだから、2019年度に結構される(先行的模擬授業等)って書いてあるので参加できるからうれしいんですけど、中学校とかはどうなんですか。

萩原主幹)

ありがとうございます。中学校はすでに技術家庭科の技術の方でプログラミングを学習していますし、来年度Mボット(予算要求中)を買えば小学校だけでなく中学校でも使えるものですから連携を取ってもらって、先日技術の先生にもこの研修に参加していただいていますので、そのあたりは大丈夫かと思えます。

教育長)

来年度の技術士会の動きを(説明してください)。

林主幹)

日本技術士会と方と連携して毎年科学アカデミーを実施していますけれども、先日の反省会で来年度も同じような形(プログラミング実習)で、少し発展させながらやっていきたいと伺っています。そういう機会をぜひ活用していただいて、実際に触れていただければと思います。

対象は中学生も含まれます。

教育長)

はい、よろしいでしょうか。それではプログラミング教育については終わります。
4「来年度の主要事業について」説明をお願いします。

生涯学習課長・学校教育課長)

(平成31年度主要事業について説明する。)

教育長)

主要事業について、何かご意見あるいはご質問ありませんか。河本委員。

河本委員)

成人式について、来年度は実行委員会形式になるんですか。

(本年度は)成人者への通知が秋くらいに送られてきたので、(実行委員会形式にするのであれば)できれば夏休み前の段階でいただいて、帰省してみんなが集まったときに話しができるようにした方がよいと思います。

生涯学習課長)

本年度は着手が遅れ、反省しています。来年度につきましては、早めに事業着手したいと考えています。

池野委員)

筒賀水泳プールの改築に着手いただくということですが、福祉センターの方から見ますと老朽化が顕著ですね。生涯学習課の皆さんは毎年プールの掃除が大変だと思いますし、維持管理に気を遣ってもらって感謝しています。よろしくをお願いします。

教育長)

他にありませんか。

実は成人式についてですね、先般全国の会議があって、2022年から18歳以上を成人とするということがありましたけれども、どこまで成人式をやるのかということが話しに上がりました。流れでいけば18歳からということなんですが、全国的にはやっぱり20歳からした方がよいという話しが中心となってきました。

というのが、飲酒喫煙も含めてすべて20歳で揃うということもあって、行政的にはその方がよいのではないかというようなことでした。

既に20歳で成人式をすると宣言した市町もたくさんあります。国も自分で決めずに、全国の(自治体の)雰囲気を見ながらおおまかな方向を出すという感じです。今、全国教育長会でもですね、20歳で成人式をするというのが主流ではないかなと感じます。

これはまた、どこが主管するかということも含めて整理していかなければいけないと思います。実行委員会についてもよその自治体もやっているところがあるんですが、ずっと続かないというのが課題です。毎年メンバーが変わりますから。

主要事業については以上でよろしいでしょうか。

それでは最後になりますが、5「本町における就学前教育のあり方の方向性について」、前回までの意見をまとめた町長への意見について、事務局から提案をお願いします。

学校教育課長)

(総合教育会議に町長示された方向性への意見回答案を前回までの教育委員意見を基に提示する。)

教育長)

今、3回の議論をまとめた形で、これを町長の方へ返したいということでございますけれども、何かお気づきあるいは過不足等あれば出していただければと思います。

学校教育課長)

少し補足させてください。

書いたものとしては、1ページ目の総合教育会議招集の依頼文書とともに町長部局の方に事前に送らせていただこうと思います。

したがって、これを基に総合教育会議の中で補足事項等あれば、また委員さんからご意見を直接町長に申し述べていただければと思います。

池野委員)

事務局には、非常にご苦勞をいただいてまとめていただいたんではないかと思えます。

一点気になるのが、幼稚園の募集を本年度行っていることについてですけれども、現在のこうした状況というのを早い段階で説明する必要があるんじゃないかと思えます。そこら辺のご努力もお願いしたい。

学校教育課長)

方向性が決定していない状況の中で、募集に関しては保育所等とともにさせていただいている状況です。

方向性はともあれ、先ほどの評価のところにもありましたけれども、入園児についてはできるだけ多くを確保しておきたいというの思いとさせていただきます。

1人よりは2人ということで、もちろん入園していただきたいとは思っておりますけれども、池野委員が言われましたとおり、最終的な方向性が出てくれば、その旨の説明もさせていただきたいと考えております。

池野委員)

今回、入園は受け付けるんですか。

学校教育課長)

先ほども少し説明させていただきましたが、何も整理されていない状況の中で、町長には事前に話しもさせていただいたんですけれども、この時点で入園の募集をかけないという選択肢はございませんでした。12月には毎年募集を行っていましたから、同じタイミングで出させていただいております。

教育長)

よろしいですか。

資料の1ページ総合教育会議の招集についての依頼文、それを付けて、開いていただくと意見のまとめということで議論していただく内容ということでよろしいですね。

どうでしょうか、何か他に。こういう形で町長にお返ししてよろしいでしょうか。

(はい。)

それでは、以上で終わります。6「その他」として何か事務局からありますか。

学校教育課長)

(3月定例議会に係る2月教育委員会議の予定等について説明する。)

教育長)

はい、議会に提案する予算案等の事前確認ということ踏まえまして、次回の教育委員会議の日程調整について、事務局から提案をお願いします。

萩原主幹)

2月20日9時30分開会で予定させていただきます。

教育長)

以上で第1回安芸太田町教育委員会会議を終了いたします。慎重審議ありがとうございました。

(午前11時15分 閉会)